

海外インターンシップ報告書

氏名	渡辺貴大
所属	鹿児島大学水産学部 3年
渡航先	香港

1. 参加目的

私が海外インターンシップに参加をしたい理由は2つある。

一つ目は自分の幅を広げるために海外に行きたいということ。私は海外というものに対して、大きな苦手意識のようなものを持っている。今まで海外に行く機会は何度もあったはずなのですが、何かと理由をつけて海外に行くことを拒んできた。私が海外に行きたい理由は、自分の考えや人としての幅を増やしたいということが一番にある。私はNPO法人GROADに関わってから、多くの方と海外のことについて、お話する機会があった。その中で、私の考え方や物事の見方は日本の中でしかなく、狭い視野でしか見れていないと感じた。海外インターンシップを機に自分の幅を広げたいと思っている。

二つ目は鹿児島のことをより良く知りたいということがある。私は鹿児島の食や暮らし方がとても好きで、特に食に関しては、鹿児島の一、二次生産者の方と関わる機会を自分で作り、合わせて頂いてお話をさせて頂くことが何度かあった。この海外インターンシップでは、ただ単に海外に行くだけでなく、鹿児島の商品についても学べ、それに対する海外の反応も知れるため、今の自分にはとてもいい機会なので、挑戦したいと思った。

2. 大変だったこと・つらかったこと

今回、持っていく新商品の化粧品はサンプルが出来上がっていないため、商品の紹介というよりは、現地にある化粧品の市場調査を行うことがメインであるが、椿油の商品を英語で上手く伝えられない。私たちが話す意味、伝わる意味に違いが生じ難しいと感じた。

3. 楽しかったこと

チョンキンマンションというビルの中に、多くのゲストハウスや住人、飲食店などがあるので、多くの国籍の方が在住しており、それがまた新鮮で楽しかった。ゲストハウスにも多国籍の方が滞在しており、話かけてもらえたことなど嬉しく、フレンドリーに接することが大切だと思った。

4. 達成できたこと

鹿児島出身で香港に在住し鹿児島観光 PR のホームページを運営している柿本さんとお話できた。どういう風に事業を拡大し、また他にどのような事業をしていくのかをお聞きすることができた。その中で、今回インターンシップを支援くださった企業さんと柿本さんがどういう形でビジネスをやっているのかという感覚をつかむことができた。

柿本さんと支援してくださった企業さんをビジネスの関連でつなぐための課題がみえてきたことも大きかった。

5. 渡航前と渡航後の自分自身の変化

語弊はあるかもしれないが、海外渡航に語学は必要ないということがわかった。渡航前は海外に行くことに抵抗があり、まったく行かなかった。

しかし、渡航後の自分の変化は、あまり英語が使えなくても助けてもらいながらも生活することができるということがわかった。踏み出す勇気さえあれば、海外だけでなく日本でも色々なことに挑戦できると思う。

6. 現地での商品の反応

一緒に渡航した平田さんと調査したので、同様の感想になってしまうかもしれないが、椿油は口コミがいいと鹿児島県人会の柿本さんよりアドバイスを頂いた。エステなどを店舗で使ってもらうことが良いと思う。

7. 商品が現地で広まるためには、どうする必要があると思いますか。

6. と同様、柿本さんのアドバイスも1つあると思う。海外インターンシップを続けて行くことで、学生を通じた企業さん同士の繋がりが増えたり、情報収集になったり、販売へつながると思う。

8. 海外インターンシップを通して、あなたにとって「働くとは？」何ですか。

自分が自分の存在価値を確かめるために行う表現方法であると考えている。
私は自分の存在価値を示すために学外でも様々な活動をしてきた。
誰かに利益を与えることは、自分ができることでもあり、自分ができないことにはお金は入ってこない。
価値を表現することが働くことだと思う。

9. 現地での活動を振り返って、感じたこと

とりあえずやってみることが大事ということがわかった。これはすべてに通じることであると思う。

今後は就職活動で、試験にむけた勉強を頑張ります。既存の企業に就職することや定職に就く考え方ではなく、将来的には自分がしたいことをして自分がお金を稼ぐような仕組みをつくりたい。自分にしかできない仕事をつくることをしてみたいと思う。

県人会の方と登山↓

